



RI会長の強調事項(ロータリー家族、健康問題、識字と教育および浄水)、ポリオ・プラス、及び会員増強地区大会の登録〆切 8/26(木) 10/23(土)・24(日) 於:魚津 東京第一ホテル、ありそドーム

国際ロータリー理事会の決定事項の抄録

2003-04年度国際ロータリー理事会の第3回理事会は、2004年2月23日から28日、米国イリノイ州エバンストンのワン・ロータリー・センターにおいて開かれました。今回の会合において、理事会は、16の委員会報告を検討し、78項目の決議を記録いたしました。

会員増強および拡大に関する項目

国際ロータリー会長が新しいロータリアンに歓迎表明書簡を 新会員への諸事説明および教育活動を助長するために、理事会は、2004-05年度をもって、国際ロータリー会長が新しいロータリアンに歓迎表明書簡の送付を開始することに同意いたしました。

プログラムおよびコミュニケーションに関する事項

理事会は、2003-04年度国際ロータリー超我の奉仕賞の受賞者に106人を選出しました。本賞は、他の状況で顕彰を受ける機会のないロータリアンの継続的な活動に基づいた顕著な人道的奉仕活動を認証するものです。受賞者の氏名は、ロータリー年度末に発表されます。

地元、全国あるいは国際レベルにおいて他の団体と協同で遂行された卓越したクラブの奉仕プロジェクトを認証するための協同プロジェクト最優秀賞が設定されました。2004-05年度をもって開始され、ガバナーは、それぞれの地区から最高5クラブまでを推薦のため提出できます。

ロータリー賛歌の楽曲として、ベートーベンの「エグモント序曲」からの行進曲に特別な編曲を行うことが確認されました。国際ロータリーは、その賛歌の楽曲をロータリアンのために用意し販売できるように、現在、原曲の録音を委託し製作にあっています。

その2003年10月の会合において、理事会は、ロータリー親睦活動グループに対し新規の保険加入および損害賠償の義務要項の適用を承認し、また親睦活動に対し2004年6月30日までにその義務要項の履行を要請いたしました。今回、理事会は、そうした義務要項の履行の発効期日を2005年7月1日まで延長いたしました。

理事会は、国際共同委員会を推進するようロータリー・クラブおよび地区を奨励しています。

、2012年国際ロータリー年次大会の開催候補地として、ブラジル、マレーシア、タイまたはオーストラリアの選定に賛成いたしました。

予定	例会	その他
8/26	「インドネシアの情勢」ニエロ	ブルナミ氏 スラバヤ RC
9/2	藤田清ガバナー補佐訪問例会	
9/16	近藤俊行ガバナー訪問例会	

日下 さち子さんの ピアノリサイタルをよろしく (金沢百万石RC後援)

ハンガリーの情景
ソナタ第8番 / 6つの小品 / バラード第2番 / 組曲 / ハンガリー狂詩曲 第12番
9 / 10 (金) 石川県文教会館ホール 開場 18:30 開演 19:00 前売り2,000円
(東海林会員まで)

2004 ~ 2005

(理事) 会長: 炭谷亮一 会長外: 二木秀樹 直前会長: 坂口國男 副会長: 江守巧 岩倉舟伊智
幹事: 魏賢任 副幹事: 野城勲 水野陽子 会計: 池田裕之 クラブ奉仕委員長: 木村幸生
職業奉仕委員長: 村田祐一 社会奉仕委員長: 北山吉明 国際奉仕委員長: 木村陽子 新世代委員長: 西村邦雄
(役員) 監査: 吉田昭生 例会: 高嶋由治 SAA: 江守道子 RC情報 谷伊津子 広報 市島明子
会報 石丸幹夫 増強拡大 山下公一 修練選考 木場紀子 企画 宮永満祐美 親睦 齋木妙子
友好 東山卓嗣 R 財団委員長 岩倉舟伊智 米山委員長 東海林也令子 地域発展委員 石丸幹夫

(事務局) 相川晶代

例会会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-1111 例会日時 木曜日 19:00
事務局 ライブ1ビル 2F 〒920-0852 金沢市此花町 3-2 T262-2211 F262-2241
E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページ URL http://www.hokuriku.ne.jp/million/
事務局執務時間 月火水金 10:00 ~ 16:00 木 15:00 ~ 20:00 休憩時間 12:00 ~ 13:00 休日 土日祝日



例会便り

通算 298 回

日月(ひづき)セントラルアークビル 1 F

出席 25/41 60.98%

7 月修正出席率 76.59

2004.8.12

会長挨拶

特別ゲスト 石丸恭子(たかこ)夫人 後出有美夫人
メイキャップ なし

二木秀樹会長エレクト 暑い日ですが、ここまで歩いてきました。きっとビールはおいしいでしょう。乾杯

委員会報告 木村幸生クラブ奉仕委員長 8/26 は卓話がありませ



んが、クラブフォーラムになります。皆で懇談座談会の予定です。

メッセージ 坂口國男前会長から先日東京から戻り少し体調をくずしています。今月までお休み、来月からまた出席します。炭谷会長、会員の皆様によろしく・・・

宮本会員より 本日出席のつもりでしたが、急に出席できなくなりました。17日から織作峰子さんの写真展の前に、16日セレモニーがあります。是非、いらしてください。ご都合の良い方は、事務局までお知らせ下さい。

二コボックス 本年度合計 ￥108,000 残高 ￥4066,059-

炭谷会長 納涼例会に寄せて 宮永会員 暑いですね。長い間、お休みしました。最近、名古屋が景気がよいようで何回か仕事で行って来ました。



古谷会員の新しいセントラルアークビル 1 F(セントラルホテル向かい)で納涼例会がおこなわれました。

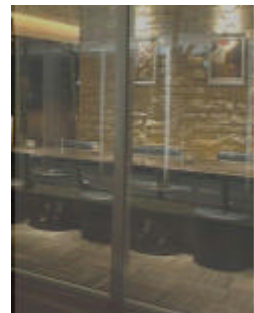
ビルのつくりは斬新で至る所に新しいアイデアがみられました。

炭谷亮一会長の一本締めで閉会

なお二次会は 8 F のラウンジでしたが、ここもこれまでの常識と異なったルーム設計でした。

金沢駅前にそびえる セントラルアークビルの最上階、星のラウンジ 『そらびと』は、個室

感覚で お寛ぎいただけるクラブです。そらびと tel.076-263-2200 会員の皆様 ご利用下さい



会員消息

織作みね子写真展 8/16 18:00

オープニングパーティ 浅の川画廊にて

ワインのみ、フルートの演奏を聴き、織作さんの素晴らしい作品を鑑賞しました。

宮本玲子会員より



もうすぐ9月2日は300回例会で会報は300号です。記念すべき例会、会報です。原稿募集中!

光州からEメールがきました。

南光州ロータリークラブ朴小児科の娘「朴世利」と申します。いつも父がお世話になっております。先日は日本でめいこが大変お世話になりました。めいの鑑賞文を父の代わりに送らせていただきますので宜しくお読みください。

日本での思い出

瑞一中学校 1年生 李知樹(イ・ジス)



7月26日から30日まで南光州ロータリークラブ主催の日韓青少年交流プログラムの一環として日本の金沢に行ってきた。日本に行く前に南光州ロータリークラブのメンバーである祖父からロータリークラブについて色々な話を聞いた。ロータリークラブは社会指導層の方々が寄付金を募り、様々なボランティア活動をしている団体で国際的な交流も行っているそうだ。だから祖父には日本で韓国の学生として良い印象を残すよう、行いをきちんとし、日本旅行でたくさんのことを学んでくるように頼まれた。私は初めての日本旅行だったので本当に楽しみだったが、一方ではまるで私が韓国を代表する人になったかのように、行いに気をつけなければと責任を感じたりもした。

わくわくとした気持ちと心配の気持ちを同時に抱いて見知らぬ姉ちゃんたち、兄ちゃんたちと一緒に日本に着いた。空港で見慣れない文字と見知らぬ人たちに出会うと、日本で迷子になってしまうのではないかと、ふと不安な気持ちに駆られたりもしたが、遠くから私たちの名前が視野に入り、暖かい微笑みを浮かべている皆さんに出会ったとたん、心配はいつの間になくなり、心は落ち着いてきた。私と姉ちゃんが泊まった所は、金沢百万石ロータリークラブの会長でいらっしゃる炭谷先生のお宅だった。先生の娘さんであるエリちゃんは優しくして英語も上手だったから、楽しく会話することができた。炭谷先生の奥様にはご自分を「お母さん」と呼ぶように言われただけでなく、とても気楽にしてもらって本当に有難い気持ちでいっぱいだった。夕食では伝統和食を食べたが、名前はよくわからないけれど、非常に美味しかった。不慣れな国での夜だったが、ご家族皆の暖かいお気遣いのおかげでゆっくり休むことができた。

翌日、日本の3大庭園といわれる兼六園へ向かった。すごく暑い日だったので暑くてたまらなかったが、美しい庭園を見たらすぐ暑さも忘れてしまった。日本に行ってきたことのある人から、日本では全ての物が小さくて量も少ないと聞いたが、夕食を食べた伝統和食屋で食べ切れないほど豊かな食卓を見て私たちへのお気遣いが感じられた。祖父から少し習った日本語で「いただきます」と言ったら、ある方にてっきり私が日本語ができると思い込まれてしまい、早口の日本語で話をかけられて私はびっくりして「ノー、ノー、ノー」と慌てて言った。「日本のお母さん(炭谷先生の奥様)」と話は通じなかったが、ボディランゲージと簡単な漢字などでコミュニケーションはとれた。言葉の障壁を越えた、私たちへの温かい気配りのおかげだったと思う。韓国に帰ったら、きっと日本語を勉強して今度日本に来ることがあったら、「日本のお母さん」と自在に話できるようにしようと決心した。

私たちは日本のアルプスと言われる高さ3000mの立山にも登って忍者寺も見た。温泉の本場である日本だから、当然温泉も観光コースに含まれていた。それ以外にも音楽堂、工芸工房、新聞社なども見学した。最も記憶に残るのはロータリークラブの例会に出席したことである。そこではまるで私たちが韓国の代表でもあるかのように持て成しを受けて誇らしい気持ちになった。自己紹介をし、日本旅行の感想をも発表した。韓国語で話したら、金沂秀先生に日本語の通訳をもらった。楽しすぎて家に帰りたくないくらいだと話したら、皆笑って拍手してくれた。私は大人になったらロータリークラブのメンバーになろうと決心した。それで国境を越えて人を助けたり、他国のメンバーとも交流したいと思った。

韓国に帰る日、空港で「日本のお母さん」にさよならを告げる時は泣けそうだった。「日本のお母さん」も同じ気持ちであったのか、涙を流していた。とても優しくしてもらったので短い期間であったにもかかわらず、家族のようになってしまった皆さんにすぐ会いたくなってしまう。私にとって日本は皆さんからの温かい思い出ときれいな環境、人への気配りと親切の身に付いている人たちの国として一生記憶に残るであろう。

ベルギーから来ました。地区 Youth Exchnage Program で金沢へ 8/21~27 炭谷、村田宅へ



Frederick DeBierre 君
Genk RC



Pieter Mertens 君
Genk RC



Magaci Govacius さん
St-Nikolaas RC



Florence Leroy さん
Maldegem RC